

県新年度予算内示

— 2月定例会22日開会 —



15日、県議会は議会運営委員会を開き、2月定例会の会期を2月22日から3月19日まで27日間とすることを決めました。また、新年度の予算内示が行われました。

一般会計総額は、約567.2億円（前年比1.22億円減）で7年連続のマイナスとなりました。税金が落ち込んでおり、県民の収入や消費の低下と中小企業の経営の厳しさがうかがえます。

06年に制度変更を行い、対象者が狭くなった乳幼児医療給付事業は、今年度の見直しの中で所得制限を緩和し、現行の83%から92%を対象とする乳幼児に拡大されます。私立高校への助成は総額は減っていますが、1人あたりの単価は1万円引き上げられ約31万8000円となっています。

また、補助率を引き下げ将来的に打ち切るとしていた福祉施設整備の利子補助金は、今年度と同様に維持されます。

新規事業としては、農業分野で多くなっており、小中学校の米飯給食を増やす事業費も含まれています。

一方で、具体化していないにもかかわらず見込まれている合併補助金や、県民に効果が見えない研究支援費、河川改修でも可能と指摘している最上小国川のダム建設に関する調査設計費、有事を前提にした国民保護対策費なども予算化されています。

新年度に向けて、一層みなさんの代弁者として奮闘する決意です。

こんにちは

渡辺ゆり子

2008年2月24日
第24号
発行
日本共産党県議会議員
渡辺ゆり子
<連絡先>
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365



沖縄米兵 少女暴行に抗議行動

14日、「戦争体制づくり」に反対する山形県連絡会」の行動に参加し、インド洋での米軍への給油再開の動きや沖縄での米兵による少女暴行に抗議するとともに、「憲法九条を守り、戦争体制づくりを許さない声を広げよう」と訴えました。

沖縄米兵

少女暴行に

抗議行動

最上小国川 調査結果報告会開催

最上町民にダムたたきつける治水対策を提案

16日、日本共産党県議団主催で、専門家集団の国土問題研究会とともに調査した最上小国川の治水対策について、最上町中央公民館で結果報告会を開きました。当日は吹雪の中、110名の参加者が、熱心に報告を聞き活発に質疑や意見を交わしました。

私は、昨年9月県議会一般質問でのやりとりを報告し、「行政は正しい情報提供と住民が検討できるような保障すべきだ」と発言。「問題点や課題



ゆり子の視点

2・11憲法改悪反対集会に参加し

集会の記念講演講師の伊藤真氏の講演で、印象に残った言葉は「弱い人間だから過ちを犯す。そのやっちゃんいけないことを規定したのが憲法です」の話です。「民主主義でも多数決が正しいとは限らない。多数の権力

でもやっていけないのが、基本的な権、国民主権、平和主義をないがしるにすることです。だから、憲法を守る義務があるのは、国会議員や政治家、公務員です」と明確です。では、国民はたえずこの憲法の普遍的な内容を守るために監視していかなければなりません。大いに主権者意識を高く持つ必要があります。私自身も地方議員として、この奥深い憲法の精神を大切にしていきたいと強く感じました。